

スタッフ便り

スタッフ便りを書く順番が回ってきました。←六年前と四年前と二年前の書き出しがこれでした。六年前はその日の出来事を日記風に記述するという手法でスペースを埋め、四年前は大学での業務スタイルがオンラインに移行して一変したという誰もが書きそうなことを書いており、それより前の2016年は例年8月に実施している講習会の様子を、2013年はオープンキャンパスでデモをした様子を書いていたようです。二年前はここまでの内容にプラスして、私自身のメインの研究テーマであるカードベース暗号について触れていますね。このスタッフ便りの執筆の順番が定期的に回ってくることで、これまでの歩みを振り返ることができ、有難いことです。

今年もサイバーサイエンスセンターではオープンキャンパス（←本号の発行時には終了しているかも）や講習会がございますので、ぜひご参加をご検討いただければと存じます。そうこうしているうちにいい感じの字数となりましたので、このあたりで閉じたいと思います。二年後はどうなるでしょうか？（T.M）

近年GPUの需要が高まり、その用途も今までのものとは多様に変化しています。

ゲーム用途がメインだったGPUが、近年では生成AI等の用途に使われることも増えております。“謎のAI半導体メーカー”「NVIDIA（エヌビディア）」がここまで表舞台に立つことになるとは思いませんでした。その影響は株価にも影響を与えているようです。できることなら20年前にタイムスリップしてのNVIDIAの株を買えるだけ買いたいものですね。

GPUは家庭用ゲーム機にも搭載されており、その性能も年々進化しています。20年近く前のゲーム機ですと、2006年にPS3（プレイステーション3）が発売されましたが、PS3のGPU性能は224GFLOPSと言われている。最新のPS5（2020年発売）のGPU性能は10.3TFLOPSと言われているので、その間に約46倍性能がアップしています。とんでもないですね。

さて、ゲーム好きな私としては、GPUの需要が生成AI等にシフトしているのは少し寂しい気があります。ですが、技術は巡り巡って来るものと思っていますので、私個人としては今後進歩したAI技術を、ゲームの分野で何かしら良い形で反映・活用してくれたら面白い未来が待っている、そう信じています。（Y.K）

【サイバーサイエンスセンター内 情報部情報デジタルサービス支援課スタッフ異動のお知らせ】

2024. 6. 30 付け

[転出]

南 裕子 総務係主任（災害科学国際研究所総務係主任へ）
小林一斗 会計係員（病院総務課給与係へ）

2024. 7. 1 付け

[転入]

齊藤留美子 総務係主任（災害科学国際研究所総務係主任から）
藤田沙耶香 会計係員（電気通信研究所用度係から）



SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 高橋慧智
今野義則 佐々木明里 大泉健治 小野 敏
斉藤くみ子

令和6年7月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF 作成 株式会社 東誠社